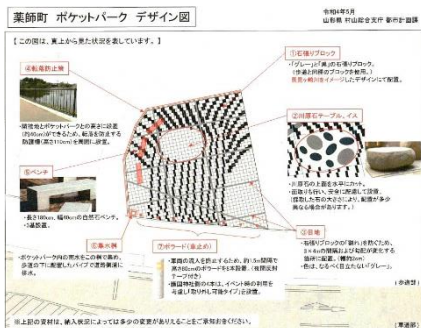


(活動報告書様式)

団体名	特定非営利活動法人まちづくり山形		
事業名	都市計画事業に伴う環境創造とそのプロセス		
助成事業区分	協働助成事業 (テーマ希望型) 【テーマ：まちづくり】		
団体の 所在市町村	山形市	事業費	1059,308円
		うち助成金額	879,000円



■事業目的

都市計画事業において、対象地域は長期および多岐にわたる変化を余儀なくされる。縦割り事業によって、ばらばらに実現するのでなく、新たな環境に向け創造的なまちづくりを目指し、事業後の生活の質を高めるために、住民側でできるまちづくり活動を発見し支援することが目的である。まちづくり事業に関わる地区に入って、よりよいまちおこし、まちづくり、街並み形成のための活動を行う。

■実施内容

① 薬師町通りまちづくり史

20年にわたる都市計画道路の要望から事業実施に伴う街づくり活動の歴史をまとめた冊子を100部以上製作して、地区住民に配布した。協定締結、沿道景観調整、歩道・広場デザイン(歩道模様、植栽、広場模様(写真①)、照明、ポラードなどのデザイン決定)、など20あまりの項目に、見開き単位で図面・写

真を多用した構成の冊子である。住民、事業者にも執筆いただいた他 NPO が執筆・編集・発行した(写真②)。

② 栄町大通り街路D検討会

ほぼ毎月街路D(デザイン)など街づくりに関する検討会を実施した。担当課がばらばらに実施しがちな予定などをヒアリングして、検討会でその結果を話し合った。しかし各課の返答のみでは要領を得ない点も多かったため、市長へ要望書を提出することになり、10月末に市役所で市長と面会し提出した(写真③)。

③ 両町通りの街並み審査会

事業が終わりに近づいて建て替え件数は少なくなってきたものの、景観に関わる個別事例の外観や外構のデザインに関して、専門家の指摘などを中心に、街並みの調整が行われた。

■事業の成果及び今後の展望

① 事業の成果

・まちづくり史に関わる地元資料を掘り起こすことが

できた。昭和20年頃中学生だった地元の方が描いた住宅地図や古い地図、まちづくりに賛同する地元の方々の署名押印などである。

・まちづくり史を県と市の図書館に寄贈した、山形新聞5月21日版にまちづくり史を取り上げた囲み記事が掲載された(写真④)。

・山形市長面会后、県と市関係各課の連携と地元住民との話し合いの場設定が進展しつつある。

② 今後の展望

薬師町通りの事業はR5年度で終了するので、街づくり委員会の解散に伴う種々の活動を行う。栄町大通りでは市道交差点部など景観づくりに関する、県・市・住民の話し合いの場を通じて、統合的な計画実施に向けた活動を行う。

詳しくはHPをご覧ください。  
matidukuriyamagata.work